

2023 Information

※各行事は予定です。必ずホームページで日時をご確認ください。

学校説明会

- [第1回] 4/22(土)
- [第2回] 8/2(水)
- [第3回] 11/4(土)
過去入試問題勉強会も開催

個別学校見学会

- [第1回] 5/18(木)~6/9(金)
- [第2回] 7/31(月)~8/31(木)

オープンスクール

- [夏] 6/17(土)
- [秋] 10/14(土)

入試説明会

- [体験入試] 12/17(日)
- [入試直前説明会] 1/8(月・祝)
総合・グループワーク型体験

帰国生対象相談会

8/22(火)

行事

- [体育祭] 5/12(金)
- [校内英語弁論大会] 6/23(金)
- [ヨゼフ祭(学園祭)] 9/17(日)・18(月・祝)

HP・SNS

WEB サイト
<https://www.st-joseph.ac.jp/high>

Facebook
<https://www.facebook.com/stjosephgakuen>

YouTube
<https://youtube.com/@user-oq1fn5id5n>

Instagram
<https://www.instagram.com/stjosephgakuen>

 聖ヨゼフ学園中学・高等学校

〒230-0016 横浜市鶴見区東寺尾北台11番1号
 TEL 045-581-8808 FAX 045-584-0831

Access



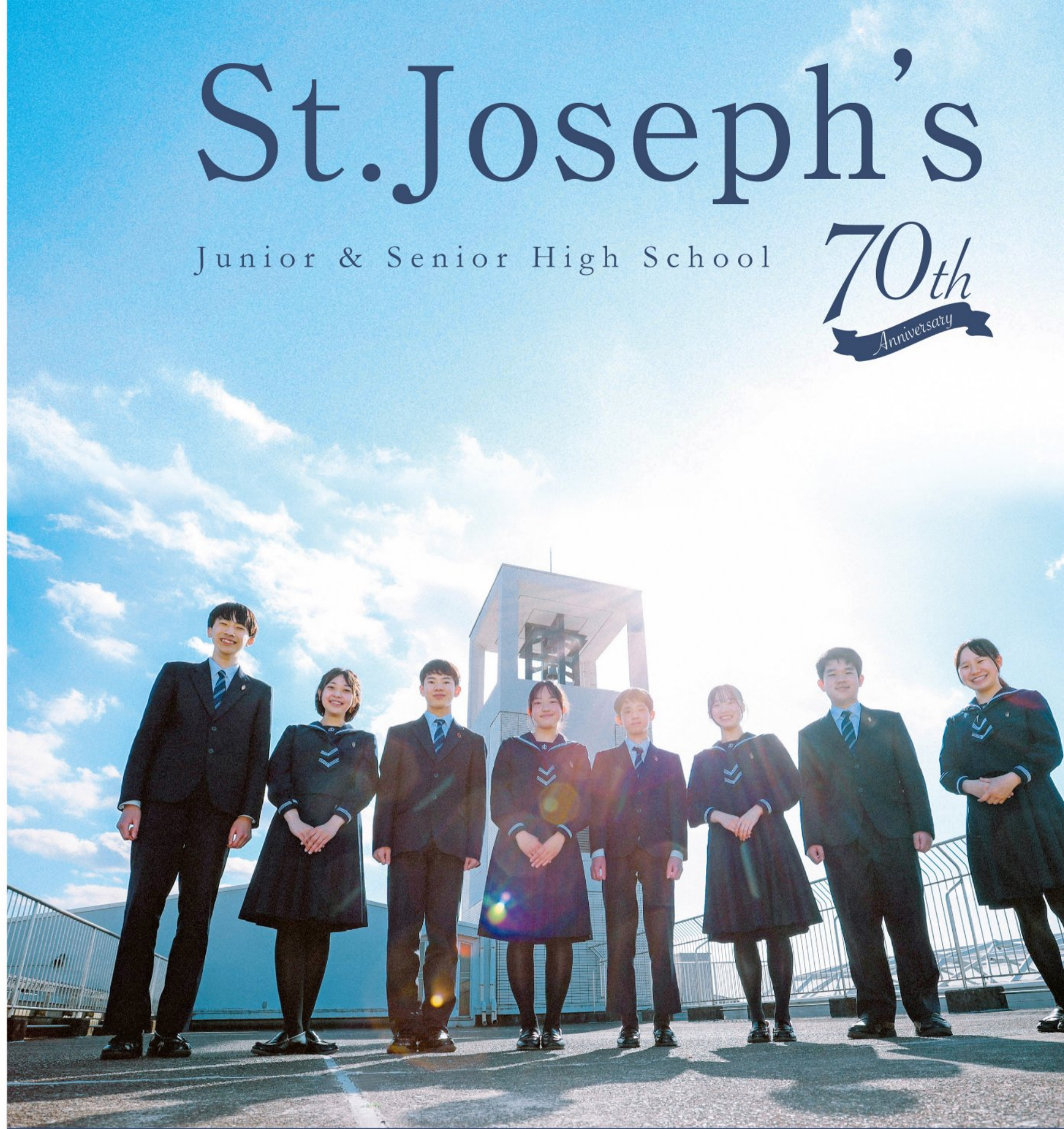
Map



St. Joseph's

Junior & Senior High School

70th
Anniversary



 聖ヨゼフ学園中学・高等学校

School Guide 2024

信 望 愛

信仰・希望・愛の力によって一人ひとりが生かされていくようにこの三つの力（徳）を「信・望・愛」の校訓として掲げています。

70年の時を越える愛のこころ

世界の和解と一致を掲げるポール・ワトソン神父の思いは、今の時代だからこそ、大切に受け継がれ広めていかなければなりません。初代校長の勝野巖神父が聖ヨゼフ学園で大切に伝えてきたその「愛」は、70年の時を越えてなお、私たちのこころに強く受け継がれています。



STJ 学園の教育方針

1. カトリックの教えに基づき、愛の心を涵養する。
2. 知性、徳性を高め、心身を鍛え、社会に貢献する人を育てる。
3. 神にいただいた個々の賜物に気づき、生かそうとする姿を育てる。

学園の基本精神

学校法人アトメント会は戦後の荒廃した社会状況の下、1953（昭和28）年、鶴見聖ヨゼフ小学校開校にあたり、普遍的な価値判断ができる人を育てる教育を目指し、「信・望・愛」を建学の精神と決めました。信（神を信じ）・望（神の約束の実現を希望し）・愛（神の愛ゆえに神を愛し、人々を愛する）とは、神に愛された私たちが、キリストと一致して、この世を生きるために、神が与えてくださる徳=生きる力です。私たちは、この建学の精神に基づき、幼稚園から高等学校に至る教育を展開しています。それは「信・望・愛」によって生きる人こそが、この混沌とした時代に希望の光をもたらし、愛をもって互いに支えあい、この世界に和解（アトメント）と平和をもたらすと確信するからです。



理事長・学園長
平松 達美

ともに学び、ともに歩み、ともに生きていく「共学」

2023年度、聖ヨゼフ学園は創立70周年を迎えます。70年前の日本は、まだ戦後間もない混沌とした時代でした。そのような中、初代校長の勝野巖神父は、「人が人らしく生きていけるように、カトリックの教えに基づいた普遍的な価値観を持つ、真の平和と人々の幸福を創り出していく人を育てたい」という思いを持っていました。自身はかけがえのない存在であり、それは誰しもが同じです。互いを認め合って、互いに尊重しあうことで真の平和が生まれると私たちは考えています。2020年度から中学校が、そして2023年度からは高校も男女共学となります。時代に合わせて学園も変化をしていきますが、「教育・学び」という部分に変化はありません。生徒も教員も保護者の皆様も一緒に共に学んでいく、という意味での「共学」と捉えています。ともに学び、ともに歩み、ともに生きる。それぞれにそれぞれの役割があり、だれもが平等に神様からいただいた賜物（タラント）をもっています。その賜物を一人ひとり見出して、伸ばしていくことが大切です。そのためにより一層、個に応じた教育を進めて参ります。



中学・高等学校 校長
多田 信哉



インタビュー
動画がご覧
いただけます

信 Faith



ヨゼフのこころ

カトリック精神に基づき全人教育。宗教教育を通じて、自分を知り、他者を知り、世界を知っていきます。



教育目標

よく学び努力する人、知恵のある人

- ・ 誠実に学び、自己の可能性を広げる。
- ・ より高い価値の実現をめざし、知識を知恵に高めるように努力する。

いのちを喜び、感謝と奉仕の心を持って生きる人

- ・ 自分のよさを受け止め、いのちを与えられたことに感謝する。
- ・ いのちを尊重する心と生活姿勢を持つ。
- ・ 感謝にもとづいた真の奉仕の心を持つ。
- ・ 良心の勧めに従って行動できる強い意志をもって生きる。



＜ 宗教教育 ＞

宗教の授業

グローバルな世界の中で、お互いの存在を大切にしながら理解し合い、助け合っていくアットメントの精神を学び、豊かな心を育みます。



学びのねらい

全学年、週に1時間ずつ「宗教」の授業があります。すべての学年を通して、神様からいただいた賜物をしっかりと受け止め、隣人を大切にしながら世界につながっていく神の愛について学んでいきます。

＜ 宗教の授業 ＞

- 中1 キリスト教の基礎知識・『旧約聖書』を学ぶ
- 中2 『新約聖書』を通してイエスの生涯を学ぶ
- 中3 『新約聖書』から「イエスの死と復活」「弟子たちの宣教」について
- 高1 世界の宗教、それらを土台としたさまざまな文化・絵画・映画などを考察する
- 高2 長崎に関連するキリスト教（修学旅行）、平和学習
- 高3 神の愛と自己受容・6年間を振り返って

(2022年度実施例)

修養会

年に1回、すべての学年において「修養会」が行われます。神父様やシスターの方の講話をうかがいながら、静かな修養の時を過ごします。各学年のテーマに沿って自分自身を見つけるとともに、仲間との分かち合いを行います。

＜ 修養会のテーマ ＞ (2022年度実施例)

- 中1 「かけがえない『わたし』」
- 中2 「心の旅」
- 中3 「奉仕の心を育てよう～いのちへの共感～」
- 高1 「わたしにできること」
- 高2 「仕合わせとは？」
- 高3 「愛」

生命尊重学習会

「修養会」と同様、全学年において年1回、「生命尊重学習会」の時間が設けられています。学年ごとに音楽療法士、看護師、NPO法人の責任者など、各界で活躍されている講師を迎え、生命の尊さと人間としての生き方を学びます。

＜ 生命尊重学習会のテーマ ＞ (2022年度実施例)

- 中1 「子供から大人へ」
- 中2 「異性」
- 中3 「しあわせになるために」
- 高1 「生きるってシアワセ」
- 高2 「人権」
- 高3 「愛」

宗教行事

学園ではキリスト教に基づいた宗教行事が学年を越えて行われます。



聖母奉獻式



ロザリオ 祈りの集い



信者の集い



ミサ

自分も周りの人もみなすべてがかけがえない存在である



インタビュー動画をご覧になれます



Teacher Message

宗教部 部長 太田絵美先生

宗教について授業や学習面で知識として学んでほしいことはたくさんあります。しかしそれ以上に、宗教教育を通して自分や周りにいる人すべてがかけがえない存在であるということに気づき、神様から与えられた賜物を自分のため、人のために使えるようになってほしいと思っています。自分自身のことだけではなく、常に相手の立場に立って考えられたり、人のために惜しみなく時間を使えるようになってほしいです。学園生活の中で、先生や友達同士一緒になって心の中で通じていく。そうした人と人とのつながりが普段の生活の中でも感じてもらえたらうれしいです。

自分の姿を見つめなおすきっかけに

みんなが思う幸せや平和について話し合っ分ち合えることができたので宗教の授業はすごくいい時間だなと感じています。修養会や、生命尊重学習会では、自分のこれからの人生や困っている人自分は何ができるのだろうと考えることができました。

高校2年 Sさん



Student Message

インタビュー動画はこちらから



望 Hope



ヨゼフの学び

「生涯学び続ける人」となるために、探究活動や発信型の授業を通して、主体的に学ぶ力を育みます。



〈 主体的な学び 〉

すべての教科において、知識をインプットするだけでなく、得た知識を活かして探究し、その考えた内容を発信する機会を多く設けています。すべての担当教員が、一人ひとりの発信を丁寧に分析し、適切で有用なフィードバックができるよう心がけています。



〈 IB・MYP 候補校 〉

中学校では、MYP の8つの教科群に文部科学省の定める教科をあてはめます。教科群を横断的に捉え、教科内容と実社会との関連性に認識を高められるよう学びます。



〈 高校コースの新設 〉

高等学校では、総合進学コース・アドバンスト・イングリッシュ (AE) コースに加えて、2023年度より新たにインクワイアリーベースト・ラーニング (IL) コースが新設されます。



(※) IBの「初等教育プログラム」(PYP)、「中等教育プログラム」(MYP)、「ディプロマプログラム」(DP)の3つのプログラム(および「IBキャリア関連サーティフィケート」)を実施することができるのは、国際バカロレア機構に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保証するものではありません。IBおよびIBのプログラムの詳細については、ウェブサイト (<https://www.ibo.org>) をご覧ください。

	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	
学習の特徴	<p>「生涯学び続ける人」になるための、探究的な学びの実践</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>Step 1</p> <p>8つの教科分野での探究活動を通じて専門知識の理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語(言語と文学) 社会(個人と社会) 数学 技術・家庭(デザイン) 音楽・美術(アート) 理科 保健体育 英語(言語の習得) </div> <div style="text-align: center;"> <p>Step 2</p> <p>実社会で応用可能な学び、(スキル、知識、視点)を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> 「概念」(コンセプト)を基盤とする指導 学習スキルの習得 国際的な視野の育成 </div> <div style="text-align: center;"> <p>Step 3</p> <p>学びのまとめと振り返りを通して、生涯学習者としての成長を実感する</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科の枠をこえた学び 生徒主導型面談 奉仕活動プロジェクト </div> </div>			<p>総合進学コース General Course</p> <p>小規模校ならではの特性を活かし、少人数制によるきめ細かな指導を実施しています。一人ひとりの学習進度に寄り添い、基礎から応用まで幅広くサポートしていきます。</p>	<p>生徒一人ひとりの進路に最適化した学びの実践</p>	<p>IL コース NEW Inquiry-based Learning Course</p> <p>主体的なプロジェクト型・発信型の学びを通じて、「世界の諸問題を他人事とせず自らの課題として積極的に捉え、人々の真の平和と幸福を創り出す人」となるための『実践』を行い、生涯学び続ける姿勢を養います。</p>	<p>AE コース Advanced English Course</p> <p>英語科目においては「自他の良さを認め合い、学び続けるCommunicatorの育成」を目標に、All Englishの授業で「話す・書く」の発信型の能力を中心に、「聞く・読む」の力も総合的に伸ばします。</p>

人々の真の平和と幸福を創り出す人へ

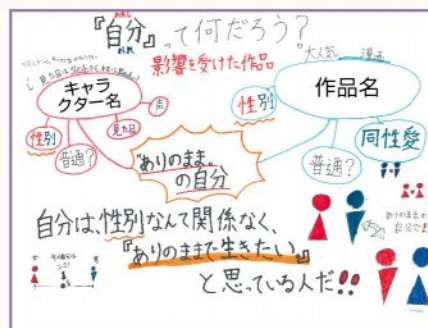


〈 国語 〉

中学1年生

Unit1 「自分が影響を受けた作品から自分自身を知ろう！」

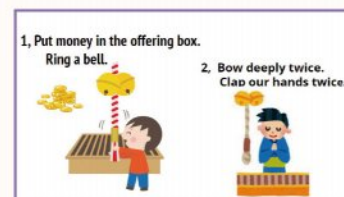
1. 自分が影響を受けたと思う作品を挙げる。
2. そのうちの1つをクラスみんなに紹介。(みんなに自分自身を知ってもらおう)
3. それらの作品からどのような影響を受けて、今の自分ができあがっているのかを考える。
4. その考えた内容を1枚のポスターにまとめる。(自分で自分自身を知る)



生徒作品



生徒作品



学びの実践

ライバルは過去の自分。
生涯学び続ける人になるために

「自分で考えて行動し、振り返りを通じてまたさらに考え行動する」
他者との比較ではなく過去との比較、さらに未来への学びの構築。「本当の学び」がここにはあります。

〈 英語 〉

中学2年生 Unit3 「Things to Do in Japan」

1. 海外の姉妹校の中学生に向けて歓迎会を開くという設定の本文を読み、日本の文化について知る。
2. 日本の文化について各自でリサーチする。
3. 調べたものの中から1つ選び、「海外の姉妹校の中学生に向けて日本の文化を紹介する動画を撮影する」という設定の下、クラスメイトの前で発表する。発表内容は、文化の紹介だけでなく、クラスメイトを対象に行った文化に関するアンケート結果や日本に来た時の歓迎の言葉など、聞き手を意識したものとなっている。



【未来に願いを】
今は自由に楽しくて一人一人が特別になれるけど大人はありきたりを求めて、皆みんな自分だけ他人で影では朽ちてゆくから。あの頃は良かったって同じ事ばかり憶えている大人って縛られて苦しくて全部、全部が、綺麗事かもしれないけれどそれでも大人って何でもやろうとできるって。未来に願いを込めてやりたいことやって責任を担って夢を追いかけたい未来に願いを込めてそんな大人になれるように未来を願って願って願う力を信じてずっと、ずっと、ずっと、そうすれば夢は叶うって信じたいからしんじたいから

Student Message
学んで終わりではなく
学びを実践する喜び

アトリウムにあるモザイク壁画は、茶色いタイルとそれ以外の部分で構成している白いタイルできていると気づきました。それで、それぞれに分けて調査すればより正確に求めるだろうと思い、チームに共有して計算しました。数学は学んでも実際に生活の中で実践する機会はなかなかないと思いますが、今回のような課題を通して学んだことをツールとして実践できる体験はすごく楽しかったです。



中学3年 Mさん

〈 アート 音楽×美術 〉

中学2年生 Unit5 「届けよう、この想い！」

音楽と美術の合同ユニット

応援ソングの作成を通し、メッセージや想いを効果的に伝える方法を探究する。

1. 自分が伝えたい想いやテーマをもとに、歌詞を考える。
2. 作曲アプリなどを使用し、歌詞に合わせた旋律やリズム、伴奏を作成。
3. 曲の世界観やテーマをより深く伝えるための、MVの構成や構図を探究する。
4. 音楽に合わせて、作成した原画を編集しMVを完成させる。
5. 制作や発表、MV鑑賞を通して、感じたことをまとめる。

Student Message

夢を見続けることの
大切さを
ミュージックビデオに

歌詞もメロディーもイラストも全部自分で作るという課題でした。大人になっても夢を見続けていいんだよというメッセージを込めた曲を作りました。音楽には全く縁がなかったのですが、母親や友達の見解などに助けられながら完成させました。一つの作品を作るのにもいろんな人の力が必要なんだと気づくことができました。



中学3年 Mさん

インタビュー・課題
動画はこちら



〈 数学 〉

中学2年生

Unit5 「標本調査 アトリウムのタイルを教えよう！」

1. 「標本調査」の知識を用いて、タイルの総数を数える方法を考える。
2. グループで案を出し合う。
3. 計測方法を決めたら、実際に壁画を調べてみる。
4. 計算結果と実際の数を比較して改善案などを検討する。



〈 宗教 〉

聖書とイエスの生き方や教えを通して、キリスト教的価値観を学びます。アシジのフランシスコ、コルベ神父やマザー・テレサのような聖人の生涯に触れます。国際社会で共に生きるために、さまざまな宗教を理解し、平和について、生と死について考えを深めて行きます。生徒一人ひとりがかけがえのない存在であることに気づき、喜びを持って他者のために生きる生徒を育てます。



〈 理科 〉

授業では、なるべく多くの実験を取り入れ、自分の手で実際に実験を行うことを通して、理科に対する興味・関心を育てるようにしています。また、大学や科学館などでの「科学講座」を実施し、さまざまな分野の専門家の方に触れる機会を設け、広い視野を持てるようにしています。

〈 社会 〉

社会科では、善き社会人、善き市民の育成をねらいとしています。過去から現在の基礎的な事象を理解しながら、自らと事象との関連性を常に意識し、現在から未来の社会において自らを活かせるような視点を養います。そのために、基礎学力の定着および探究活動を通じて理解・思考を深め、社会的な鋭い問題意識を養い、社会の一員としての自覚を育んでいきます。



〈 保健体育 〉

体育では、運動の楽しさや達成感を味わい、安全に留意しながら技能を高めていきます。将来、自ら体を動かし、健康づくりを意識した生活を送れるよう指導しています。保健では、健康に関する知識や技術を身につけ、日常生活で生かすことを目的としています。



〈 技術・家庭 〉

生活と技術についての基礎的な知識と技術を習得し、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養います。特に、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、課題に対する解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどの実践的・体験的な活動に力を入れて取り組みます。身につけた力を、家族をはじめとする他者を支えるために積極的にいかしていくことのできる人を目指します。



〈 ICT 〉

中学1年生の前期には、学校貸与のタブレットを使用し基本的な操作や情報リテラシーを学びます。後期以降はタブレットを各自準備し、授業や課題作成など、様々な場面でタブレットを使用します。各教室にはプロジェクターが設置され、大画面でスライドや映像などを見ることが出来ます。授業では、担当教員の他にICT支援員が、生徒のサポートをすることもあります。



愛 Charity

愛に生きる人となるために

少人数（一学年二クラス）であるからこそ、一人ひとりがお互いを見つめ、みとめ合える環境があります。その中で生徒は、「愛に生きる人」へと成長していきます。



行事

～みんなが輝くために、みんなで支える～

School Events

4 April <ul style="list-style-type: none"> 入学式・始業式 新入生オリエンテーション 対面式 始業ミサ 授業参観 クラブ紹介 	5 May <ul style="list-style-type: none"> 体育祭 聖母奉獻式 前期中間試験 生徒総会 	6 June <ul style="list-style-type: none"> 校内英語弁論大会 芸術鑑賞会
7 July <ul style="list-style-type: none"> 前期末試験 終業ミサ イギリス語学文化研修 (17日間) (中3・高1希望者) 	8 August <ul style="list-style-type: none"> 姉妹校 (白百合) 球技大会 関東地区カトリック校女子球技大会 	9 September <ul style="list-style-type: none"> ヨゼフ祭 前期終業
10 October <ul style="list-style-type: none"> 始業ミサ プリティッシュヒルズ宿泊研修 (中2) 後期秋中間試験 	11 November <ul style="list-style-type: none"> 追悼ミサ 九州方面修学旅行 (高2) 	12 December <ul style="list-style-type: none"> 後期冬中間試験 卒業試験 (高3) クリスマス行事
1 January <ul style="list-style-type: none"> 書初大会 立会演説会・投票票 創立記念行事 ニュージージーランドチーム留学 (高1・2希望者) 	2 February <ul style="list-style-type: none"> 進路相談会 学年末試験 	3 March <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動日 生徒総会 卒業式 (高3) 関西方面修学旅行 (中3) 卒業証書授与式 (中3) 修了式

●…中学校の行事 ■…高等学校の行事 ■…中・高共通の行事

愛を育む学び 数値でははかれない力を育む体験が、ここにはあります。

クラブ・委員会

～責任を背負うことの「意味」と「充実」を知る～

Club / Committee

- | 運動部 | 文化部 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> バスケットボール部 バレーボール部 卓球部 テニス部 バドミントン部 剣道同好会 | <ul style="list-style-type: none"> ESS 美術部 サイエンスクラブ 演劇部 書道部 家庭科部 グリークラブ 弦楽部 軽音楽部 写真同好会 |



課外活動

- 華道教室 (草月流)
- 茶道教室 (裏千家)
- 箏曲教室 (生田流)
- インターアクトクラブ・小百合会
- カトリック研究会



先輩後輩関係なく高めあえる部活動

先輩後輩関係なく、お互いが高めあえる部活動にすることを心がけて活動しています。部員同士がとても仲がいい部活動だと思います。入部したところは部員が6人しかいませんでしたが、私が入部した代から人数が多くなったので、試合に勝つことを目標に日々練習に励んでいます。



高校3年
バスケットボール部
部長・部長会会長
Tさん

インタビュー動画はこちら

今までとは違うことをしたい！自ら新しい企画を考え、実践

昇降口の消毒液の取り換えや、換気などが普段の活動で、ヨゼフ祭への企画出展などもしています。後期は自分たちで自由に活動内容を考えられます。私たちの代では掃除の時間に音楽を流したり、朝に体操をする時間を設けたり新しい企画を考えて実践しました。いろんな意見が出るように委員会内の雰囲気の上にも取り組みました。



高校3年
保健委員会
委員長 Kさん

高校3年
保健委員会
副委員長 Tさん

インタビュー動画はこちら

PICK UP School Events



5月に行われる体育祭。体育祭実行委員が中心となり、すべての生徒がなんらかの係に就き、複数の競技に出場します。さらには、各学年の生徒が全員で作上げる学園名物「学年演技」を行います。全員が「主役」であるからこそ、本校で最もアツク盛り上がる行事となるのです。



生徒が日ごころの学習成果を発信する行事の一つとして、英語弁論大会があります。オーディションを経て代表を勝ち取った生徒は、それぞれ教員からマンツーマンの指導を受け、本番にのぞみます。「英弁」間近になり、学校のあちこちで生徒たちが表情豊かに英文を暗誦する姿は、聖ヨゼフ学園の風物詩の一つです。



クラブや学年、課外活動、委員会、あるいはそういった枠にとらわれない様々な有志が集い、運営や各種の公演・企画をおこないます。いらっしゃった方々に楽しんでもらい、さらに自分たちもおおいに楽しむ。そういった確固たる意志を持った生徒一人ひとりが主体的に動き、自分たち自身の力で作り上げていく。それが聖ヨゼフ学園の学園祭「ヨゼフ祭」です。

何度でも時間をかけて生徒と向き合い続ける「愛」



教頭 武田けい子先生

「カトリック教育に基づいた、愛の心を涵養する」という言葉が教育方針の中にあります。カトリック教育でいう「愛」とは無償の愛であり、見返りを求めるものではありません。乾いた地面に水が染みるように、じんわりと心の中に愛が染み込んでいく。大人になって、社会に出て初めて、「ああこんなにも私は愛ある環境で学園生活を送っていたのだ」と気づくものだと思います。時には校則や規則を守れなかったり、破ったりしてしまうこともあるでしょう。しかし、それには必ず何かしらの悩みや、思春期の葛藤という背景があります。私たちはそこに目を向けて、何度でも時間をかけて生徒たちと向き合うようにしています。

インタビュー動画がご覧いただけます

Teacher Message

男女共学化して初のヨゼフ祭 新たな取り組みに挑戦

ヨゼフ祭実行委員会は4月から活動を始めます。企画の面接や備品調達、パンフレット制作など業務は多岐に渡ります。コロナを乗り越え、共学化して初のヨゼフ祭だったので、新しいことに挑戦することをテーマにしました。

高校3年 ヨゼフ祭実行委員会
委員長 Fさん



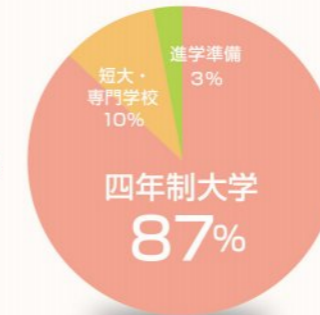
インタビュー動画はこちらから

聖ヨゼフ学園高等学校 主な大学合格実績

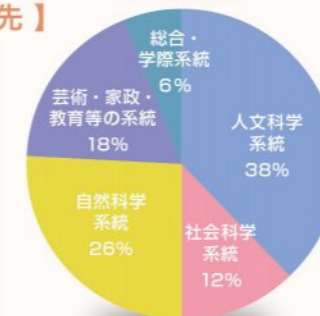
〈 進路実績 〉

【進学比率】

2022年度 卒業生数39名



【大学系統別進学先】



2023年度入試 主な大学合格者数 (卒業生39名)



指定校推薦について

上智大学 (指定校・カトリック高校対象特別選抜)
白百合女子大学 (姉妹校推薦・人数制限なし)

聖心女子大学、清泉女子大学、中央大学、武蔵大学、
明治学院大学、玉川大学、東京医療保健大学、
東京農業大学、東海大学、東洋英和女学院大学、
フェリス学院大学、関東学院大学、立命館大学、
他多数

〈 進路指導 〉

生徒と教員が、一人ひとりの適性を一緒に
なって見極め、適切な進路をともに見つけ
る。そして、目標を見定めたなら、そこへ
向かって生徒・教員が一体となって進んで
いく。そういった、言ってみれば一人ひとり
に合わせた「オーダーメイドの進路指導」
を行っているのが聖ヨゼフ学園です。

〈 小論文個別指導 〉



現在、数多くの大学入試で必要とされる「小論文」。その他に「志望理由書」や「自己推薦書」、面接など、教科外で対策が必要とされる受講科目・書類について、マンツーマン、場合によっては生徒1人に対して複数の教員が個別指導にあたります。

進路指導・進学実績

自己を見つめ将来の道を探し、自分にふさわしい未来を選択できる生徒を育てます。「オーダーメイドの進路指導」で生徒一人ひとりに向き合います。

〈 少人数授業 〉

小規模校の強みを活かし、特に高校2・3年生の選択科目などにおいて、少人数の授業を実施しています。毎年のように、教員1人に対して生徒が数名の授業が開講されます。マンツーマン(教員1人に対して生徒1人)となる授業も珍しくありません。また、授業によっては、一つのクラスを複数の教員で持つ「TT(チーム・ティーチング)授業」が実施されています。



生徒一人ひとりを全教員で送り出す

進路指導部 部長 佐藤陽子先生

本校は小規模校で、生徒の名前も顔も、教員はよくわかっています。私たち教員は、中学校から高校までの6年間、一人ひとりと丁寧に関わっていくことをモットーとしているので、進路指導においても生徒一人ひとりの考えや思いに寄り添い、それが実現できるように指導しています。高校3年の担任だけではなく、中学1年からの担任、部活動の顧問、委員会の先生、教科の先生など、全教員が生徒の成長を見守り、密接に関わり、生徒一人ひとりの進路に合わせて手厚く対応します。単に大学進学を目指させるのではなく、10年後20年後の将来を見据えての進路選択、これが本校の進路指導の大きな特徴であると思います。そういうわけで、卒業後も就職の悩みを相談しに来てくれたり、結婚の報告に来てくれたり、人生の節目で学校を訪れてくれる卒業生も多くいます。



インタビュー動画がご覧いただけます



Teacher Message

少人数だからこそ育める共感力 その力を海外に

私は現在、JICA(ジャイカ)という機関で国際協力の仕事をしています。在学中にフィンランド留学の経験をできたことなど、ヨゼフでの経験や生活が今の職業選択にすごく活かしていると感じます。また、何よりも今の自分を形成している共感力や他者を思いやる心は、ヨゼフでの学びが大きく影響しています。1学年2クラスという少人数の環境なので友達や先輩後輩、先生方とも非常に強い信頼関係が築けると感じます。

卒業生 深谷春奈さん
東京外国語大学 外国語学部 欧米第一課程英語専攻 修了
国際協力機構(JICA) 入構



インタビュー動画はこちらから



Graduate Message

異なる文化や価値観への理解を深めたい

ヨゼフで学んだ英語の授業をきっかけに海外に興味を持つようになり、学んだことを実際に活用してみたいと考えて、中学3年生の頃には海外語学研修のプログラムにも参加しました。その中で文化の多様さを感じるのと同時に、どこか言語以上に異なる文化に障壁があるように感じてしまった自分もいました。そうした経験から、文化や心理学、歴史など幅広い学問を学び、異なる文化や価値観への理解を深めたいと思い、慶應義塾大学の文学部を志望しました。

卒業生 Nさん
慶應義塾大学 文学部合格



インタビュー動画はこちらから



Graduate Message

学校生活



🕒 放課後
15:35~17:30

🕒 昼食・お昼休み 12:20~13:05

広報委員がお昼の放送を担当し、委員会からの連絡や生徒からのリクエスト曲を流します。



一日の流れ



🕒 朝礼 8:15~



講堂朝礼(月1回)では、表彰などが行われます。英語朝礼(週1回)では、お祈りや聖歌などもすべて英語で行います。



🕒 午前の授業
8:30~12:20

🕒 登校
爽やかにはじまる
聖ヨゼフ学園の朝



🕒 午後の授業 13:10~15:00



🕒 終礼・清掃
15:00~15:35



🕒 最終下校 17:30

制服

//// 冬服 ////

//// 夏季登校服 ////



//// 夏服 ////



//// ジャージ・体操服 ////



施設



聖ヨゼフ学園の施設が
動画で閲覧できます

